

## 令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県北会場

#### 科目 ④子どもの発達理解

- ◆ 支援員は子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、個人差を踏まえて一人一人の心身の状態を把握しながら支援を行うことが必要であると分かりました。子どもが安心して過ごせる環境を整え、安全面に配慮することが大事であり、見えるところだけでなく、見えないところにも目を注ぐことを忘れずに、子ども一人一人の良さにしっかりと目を向けたいと思いました。継続的に学ぶ姿勢を持ち、その学びを支援員間で共有し合い、子どもへの理解を深めていきたいと思います。
- ◆ 子どもの発達は時期区分に分かれており、子どもは各時期を経て大人になっていくこと、子どもの発達を具体的に理解した関わりをすることで、子どものよりよい成長につながっていくということを学びました。子どもの発達段階に応じた遊びや生活ができるように、遊びの場面での視野を広げ、子どもの興味関心への対応を心がけたいです。子どもをいろいろな視点で捉えて、一人一人の子どもに沿った育成支援をしていく手がかりにしていきたいと思います。
- ◆ 子どもの発達段階に応じた特徴や過程を理解し、個人差を踏まえて支援を行うことが必要だと学びました。遊びは学びの宝庫であり、放課後児童クラブでは遊びも生活も大事にしているので、その遊びを通して、運動能力や社会性、創造性などを発達させていくことが必要不可欠だと思いました。この研修で学んだことを今後に役立てていきたいです。
- ◆ 子どもは遊びを通して他人との関わりをもち、自己を肯定し、他者を理解していくことを学びました。遊びの中で色々な認識や感情、人格等の様々な能力が総合化されるのだということも知りました。子どもの発達段階において、過去と未来をつなぐ「今」に関わることでできる私たちが、子ども一人一人の特徴を理解して、決めつけずに細やかな支援をしていかなければならないと改めて思いました。
- ◆ 子どもの発達を理解するには、子どもの体の様子や人との関係、置かれている環境など、一人一人の特徴を理解することを大切にしなければいけないと感じました。また、発達を考えたときには生涯発達を意識して子どもたちと関わっていくこと、発達には個人差があり、ありのままの自分を受け止めてくれる人が必要だという言葉がとても印象に残りました。子どもの見えるところだけでなく、見えないところにも目を注ぎ、子どもの良さを大切にしていきたいです。